諸統計より。

人口統計

昭和38年12月1日現在		対前月比
総人口	24,156人	60人減
男	11,887人	27人減
女	12,269人	33人減
世帯数	4,526世帯	11世帯増

壬生町政だより

38年12月号
No. 60
毎月1回発行
発行所 栃木県壬生町役場
印刷所 株式会社 新生社

雨の中の消防点検

六十四名を表彰

昭和三十八年度の消防団通常点検は、十二月三日朝からの雨の中で行われました。壬生小学校の校庭に集まった壬生地区第一分団七部、稲葉地区第二分団第五部、南犬飼地区第三分団第五部の総団員二百六十余名が出席し、機械・器具の点検やポンプ操法などが行われました。当日表彰を受けた方々は次のとおりです。

上，消防車の点検

下，服装点検

◆県消防協会長表彰二十カ年勤続者
副団長 梁島庄左衛門

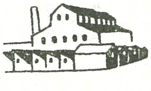
◆同十五カ年勤続者
第二分団
第三部長 木立 政男
第一分団
第六部 戸崎 実
第三分団
第三部 中村 昭一
第四部 粂川 英治
第二部 斎藤 重利

◆下都賀郡支部功績章
第三分団長 北条 典彦
第一分団
第三部長 清水 彰一
第四部長 甫坂 清
第五部長 山川 昭二
第七部長 青木 邦夫
第二分団
第三部長 木立 政男
第四部長 大橋 義雄
第五部長 鯉沼 三典
第三分団
第二部長 大関 文雄
第四部長 渡辺 正生

◆下都賀支部長十カ年勤続章
第三分団長 北条 典彦
第一分団
第四部長 甫坂 清
第六部 板橋 栄光
第六部 戸崎 正夫
第二分団
第五部 梁島 一樹
第五部 梁島 嘉之
第三分団
第一部 亀田 和己
中川 信良
第二部長 大関 文雄
第二部 大垣庄三郎
第四部 粂川 茂一

工業統計調査はじまる

十二月三十一日現在



昭和三十八年工業統計調査が、十二月三十一日現在で全国一斉に行われます。

この調査の結果はわが国における工業の実態を明らかにして、行政や経済施策の基礎となることは勿論、県や市町村においても、地域経済の開発、特に工業の振興開発のための資料として大きな役割をもっています。

今回の調査は、国際連合の勧告を尊重し、一九六三年世界鉱工業センサスとして、本来の製造業のほかに自動車修理業が調査の対象に加わりました。調査の実態にあたっては知事が任命した工業調査員が市町村長の指揮監督のもとに、事業所を訪問して行なうことになっておりますので、各事業所においては、ご多忙のこととは存じますが何とぞご協力下さるようお願いいたします。

防衛庁長官から受賞の小田垣町長

◆壬生町功績章
第一分団長 吉田 上勝
第六部長 細井 一茂
第七部長 青木 邦夫
第三分団
第三部長 川又 信一

○永年勤続者表彰
二十カ年勤続者
副団長 梁島庄左衛門
十五カ年勤続者
第二分団
第二部長 木立 政男
第一分団
第六部 戸崎 実
第三分団
第二部 斎藤 重利
第三部 中村 昭一
第四部 粂川 英治

○十カ年勤続者
第三分団長 北条 典彦
第二部長 大関 文雄
第一分団
第四部長 甫坂 清
第六部 板橋 栄光
戸崎 正夫
第二分団
第五部 梁島 一樹
梁島 嘉之
第三分団
第一部 亀田 和己
中川 信良
第二部 大垣庄三郎
第四部 粂川 茂一
粂川 由雄
第五部 吉葉 竹男

◆感謝状受賞者
茨城県古河市 小池鉄工所
山川勝一郎
藤井 毛塚 俊照
栄町 永井 清
七ツ石 臼井 信也

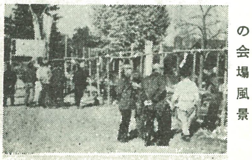
◆火災早期発見者表彰
国谷 田中 武男
渡辺 百
上通町 柏崎 源吾
六美町 中村 成正
藤井 吉田 光男
吉田 好子
下横町 鈴木 修一
上稲葉 神長 閑一

自衛官募集で壬生町が受賞

昭和三十八年度の自衛官募集事務功労団体として壬生町が他の十一団体とともに、十一月二十七日午前八時、東京市ケ谷の防衛庁東部方面総監部で防衛庁長官から表彰されました。

三学期を迎える子供の指導

中学校と高校の最終学年にある生徒たちは、この三学期に進学、就職の問題がからむので、精神的肉体的な圧迫から不良化したりするケースが多い。父兄としては、こうした悩み多い少年たちの立場を理解し、あたたかいいたわりの心で相談、指導にあたりましょう。



畜産共進会の会場風景

町長から表彰された優等賞の石川昭三氏

年毎に向上する肉牛

第3回 畜産共進会

第三回壬生町畜産共進会は十一月二十八日壬生小学校の校庭において行なわれました。

本会の目的は農業経営の安定に伴う畜産の発展は経済の成長をみちびき、食生活改善の向上と共に今後においても急速な伸長を見ることにあるのです。

そこで優秀な家畜を一般に展示してみなさまのご批判を仰ぎ、畜産振興の強化を図ることです。

〔当日の受賞者〕

◎福和田、石川昭三 優等賞。下都賀地方農業協議会長賞。県経済連合会長賞。

◎下馬木 清水甚一 一等賞。下都賀農業指導所長賞

◎城南 荒川富蔵 一等賞。壬生町農協連絡協議会長賞。以下

◎二等賞 四名

◎三等賞 十二名

技術職員募集

壬生町役場では、技術職員を募集しております。

一、農業土木及び土木技術者。

二、応募資格
大学卒または高校卒業後五カ年以上の経験者で、年令三十五才まで

三、受験手続き
履歴書、戸籍抄本一通学歴資格に関する証明書、健康診断書。

ご希望の方は、壬生町役場総務課へおたずねください。

年末・年始の役場事務

暮おしせまった、昭和三十八年もあとわずかで新年を迎えることになりました年末、年始の役場事務は次のとおりですから、ご了承下さい。

十二月二十八日…ご用おさめ
この日は一般事務は行わず、大掃除をいたします。ただし、特別な戸籍事務は行います。
（出生・出産・死亡）

十二月二十九日から一月三日
休ませて頂きます。

一月四日…ご用始め
この日から一般事務を行います。

一月五日…恒例の新年祝賀式。

公衆衛生看護学校学生募集

県の公衆衛生看護学校では、来年四月に入学する学生を募集しています。公衆衛生看護学生というと、大変むずかしいようですが、将来保健所や市町村で、保健婦さんとして活動する方です。保健婦さんの仕事は、赤ちゃんの育て方や、妊娠している方の衛生について、また高血圧や心臓病のような病気、つまり成人病といわれている病気とか、結核などの予防、摂生などについて、ご家庭を訪問し看護の方法などを教えます。募集人員は四十名で、修業年限は三カ年です。入学資格は、高等学校卒業または、三十九年三月卒業見込みの女子で年令満二十才未満の方です。出願の手続きは、宇都宮市戸祭町、国立栃木病院付属高等看護学院に四十円切手同封の上、お問い合せください。

看護学院の学生募集

国立栃木病院の付属高等看護学院では、来年四月に入学する学生を募集しています。この際、看護婦という資格を身につけて、社会のために有意義に働らくことのできる看護婦さんになられるようおすすめいたします。

募集人員は四十名で、修学年限は三カ年です。

入学資格は、高等学校卒業または、三十九年三月卒業見込みの女子で、年令満二十才未満の方です

保険税第六期分
固定資産税第三期分
（いずれも今月の納期は十二月二十五日まで）

道しるべ

従業

を募集しています。
KK中善ロール重機製造所（東京江戸川製造所）では、男十名年令二十才から三十五才まで、強健な人を求めています。社宅・独身寮の設備あり、社宅月十円、寮日五円、食費四千円。くわしいことは、同会社または壬生町同会社へ問い会せ下さい。

壬生

町の成人式は一月十五日、午前十時より、中央公民館で行われます。新しく成人となる門出を祝福する成人の日を一層意義あるように成人になるみなさんの感想文を募集いたしています。

1、〆切 一月十日
2、投稿先 壬生町教育委員会
3、応募資格 第十五回成人該当者
4、原稿の長さ 四百字詰原稿用紙五枚以内
5、内容 成人になられての希望。その他

晴れ

着を着る機会の多い時期です。万一よごれたときのとっさの処理法は次のようにします。

【しょうゆ、酒のシミ】かわいた白い布を下にあてて、ぬるま湯をガーゼにふくませてから、下の布地によごれを移すような心づもりで、しみの上を軽くたたきます。絹織物の場合は縮んでしまうからさっと手早くします。

【クツずみ、コーヒーのシミ】ベンジンでふきとるのですが、コーヒーの場合は、先にぬるま湯で処理をしてからのほうが効果があります。

【くだもののつゆ、汗のシミ】汗はアンモニア水でふきとり、くだもののつゆはぬるま湯で処理をしておいてからアンモニア水を使います。

ひどいよごれの場合とか、布地をいためる心配のある時は、クリーニングに出すほうがよいでしょう。

困っている人に愛の手を

歳末たすけあい運動

一九六三年もあとわずかで暮れようとしています。楽しいお正月を前にして、貧しい人々には苦しい歳末がやってきます。これらの人々に温かいお正月を迎えていただくため、今年も「みんなで明るいお正月を」のスローガンのもとに十二月一日から一カ月間「歳末たすけあい運動」が全国一斉に行なわれます。この運動は相互扶助のあらわれとして年ごとに高まり、昨年の本運動期間中県民のみなさまから寄せられました尊い浄財は、一千余万円にもなりました。そしてこの尊い浄財は、県内の社会福祉施設・三三八施設や、生活困窮世帯に配分され、これらの人々は明るい楽しいお正月を迎えることができました。この運動の恩恵をうけた多くの人々とともに心からお礼を申し上げます。

この運動をもりあげるためには地域の関係団体の方々の援助協力が必要で民生委員、児童委員は勿論、町内会、部落会、青年団、婦人会、学校奉仕団体などの積極的な参加をお願いするとともに県内各地に活発な運動が展開されますことをお願いいたします。具体的にみなさんの市や町村ではどのようなことが行なわれるかと申しますと「赤い羽根募金」「NHK歳末たすけあい運動芸能大会」「各市町村社会福祉協議会で開設される善意銀行の預託倍加運動」「年末をむかえ困りごと心配ごと相談所の開設」「クリスマスを祝う施設慰問および激励会の開催」「生活困窮世帯の更生援護をはかるため、社会資源の活用とくに世帯更生資金の貸付などの普及徹底」などがあります。

どうか県民のみなさま、歳末たすけあい運動にすすんで参加され、不幸な人びとが明るい楽しいお正月を迎えられますようご協力をお願いします。

▽…年の瀬が来て歳末助け合い募金が行われています。この募金はみなさんの志を困っている方々にあげようと集めています。

今までに次のように集まりました。

▽壬生郷友会（東京都）	一万三千三百五十円
▽大山金蔵（東京都）	二千円
▽殿塚常治（東京都）	二千円
▽稲葉中学校三年二組	一千円
▽青柳治子	五百円

（十二月十一日現在）

在京の壬生郷友会員

壬生郷友会ひらく

壬生町出身者の秋季郷友会は十一月二十六日午後六時半より東京都神田一ツ橋の如水会館において盛大に開備されました。出席者三十九名の中で西川末三会長の挨拶に続き壬生より出席した小田垣町長から「町の発展」の模様などの挨拶ののち、町長の欧州視察と鳥居忠博氏の壬生町名所めぐりのスライド映写があり、感銘を与えました。

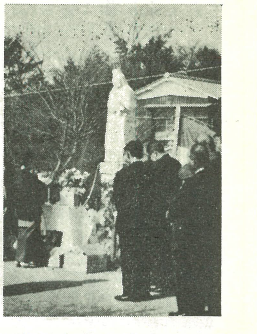
（当日の出席者）

西川末三、鳥居忠博、青木治子、荒川伝次、石崎清作、石崎達、石崎トク、糸井栄、植竹八重、内山武、太田金吾、国島千代小林国一、鯉沼昇作、清水トウ、下村米未、鈴木平、清野与四郎、太宰正伍、田村庄作、竹中伝一名坂佐助、中山金四郎、武関百寿、福田恵三、牧野ふじ、山川岩五郎、山川熊吉、山川滋、山川茂市、山崎清男、渡辺喜三郎、池田ふく、棚橋豊作松平サト子、小林徳子、松本重夫、林金一郎、鈴木しげ子。

統計功労者の表彰

栃木県統計大会は、十二月六日十時より栃木会館ホールで、県内各種統計に関係する約四百五十名が参加して盛大に開かれ席上栃木県農家経済調査に多年つくした功績により鈴木茂弥（下横町）、鈴木文男（西高野）高橋百（藤井）の三氏は知事表彰をうけた。

また、各種統計調査に当り実査と並行して統計思想の普及高揚につとめた功績により三橋長吉（安塚）、大橋文吉（上通町）、木村恵吉（城東町）荒川重利（上稲葉）の四氏と職員では総務課長田辺武、統計係福田登美子の両氏が栃木県統計協会長の表彰をうけた。



平和観音像の除幕（上町）

〜交通安全〜

平和観音の除幕式

交通安全の祈りをこめて「平和観音像」の建立除幕式が十一月三十日午前十一時壬生町（東雲橋際）の県道において横川知事夫人、小田垣町長はじめ約五十名の内で行われました。

この平和観音像は交通安全の祈りをこめて建てられたもので、知事夫人の手によって除幕されました。

すでに県下で十六体の観音像を建立され、大谷石作りの台一・八メートル像の高さ一・三メートルでこの費用は全部横川知事夫人が負担されたものです。

町内対抗野球は下馬木チームが優勝

町体協主催の第七回町内対抗町民野球大会が絶好の野球日和にめぐまれた十一月十七、二十三、二十四日の三日間にわたり壬生小、壬生中のグランドで、参加二十四チームが熱戦の火ぶたを切った。その結果、下馬木チームと上田チームが決勝に進出し、三対一のスコアーで下馬木チームが初優勝した。尚準決勝に進出したチームは、下馬木、上田、上稲葉、北小林チームでした。

稲小へオルガンを寄附

このたび稲葉小学校へ松原泰助さん（六十二才）がオルガンを寄附してくれました。

松原さんは五人家族で、もと上稲葉に在住、現在栃木市大町に移転しましたが、松原さんの話では「戦後のいろいろ困難な時期に入学した子供達を教育し、現在立派に成長したのも並々ならぬ恩師のご努力の賜ものと感謝し、これから立派に成長して行く後輩に少しでも役に立てばと思いささやかながら寄附を致しました。」と話されました。

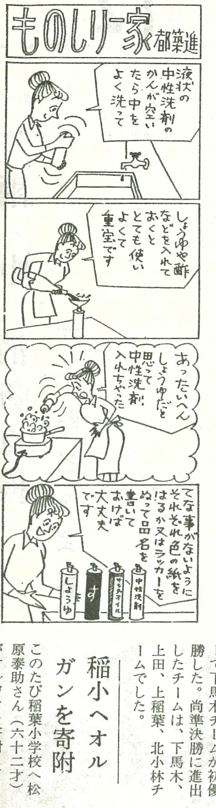
年末・年始の交通事故防止

年末年始の交通事故の防止

このまえ、壬生駅前の大通りで一時間ばかり自転車の無灯火指導をしたらナント四十五台の自転車が無灯火だった。全くあぶない話である。それに十二月一日には壬生町だけで一日に四件の交通事故がおきている。そしてその被害者の原因は

。車前飛出し

。右折の合図をしないなどであった。あわただしい時でもありますが交通事故はみんなが交通のきまりを守ることが一番大切な事故防止の近道です。



ものしりー家
都築進
液状の中性洗剤のかんが空いたら中をよく洗って
しょうゆや酢などを入れておくととても使いよくて重宝です
あったいへんしょうゆだと思って中性洗剤入れちゃった
てな事がないようにそれぞれ色の紙をはるか又はラッカーをぬって品名を書いておけば大丈夫です
しょうゆ
す
サラダオイル
中性洗剤

佐野乾山と壬生（一）

佐野乾山（けんざん）と言えば美術の世界では知らない人がない程の有名な天才的大画家（陶画家＝やきものに絵を描く）である。昨年の二月に乾山の作品（書及び色絵づけの皿、鉢、水指、茶碗、花入、茶壺、香炉向付等と十数冊の手控帳＝メモ）が二百数十点見つかり、その見ごとな出来ばえと数量は美術界に於ける戦後最大の発見であると日本中の話題になった事はすでに御承知と思う。

またその発見をめぐって本物だ、やれ贋物だと黒白論争に専門家を始めひいては一体これはどうなのであろうと大変な関心をよせたものである。

さて、乾山に関しては八十余才の高令で歿する迄、その生活や研究等の内容があまり良く知られず、作品も非常に少ないものとされていて、世に乾山と化物は出た事がない等と伝説的にあつかわれる様な状態であったし現在でもその様に思われている。そしてその事を少しも疑わずに正しいとさえ信じているのである。言替えるなら〃だから〃絶対に乾山の作品はないのであるとさえ盲信する事に自らを固執させるという様になってしまったのであり、考えてみればこの辺に問題を歪めさせる原因が潜んでいる様にも思われるし間違いのもとにもなりかねない。およそ画家でも書家でも芸術家には一生の内に数えきれない程の沢山の作品を残す人と、数える程しかない人等があったり、老境に入ってから見事な作品を創る人や、その反対に若い時の作品の方がはるかに立派であったりする様になるのが実の所であって、よくその事を見極めないで一つの事に概念的な規定をして考えてゆくと、本道から越脱して見当違いの結果を生じる危険性が大いにあるという事を覚えておいて頂きたい。

それではここで最も重要な私達の壬生町との関係や発見の経路その後の調査研究等を後まわしにして乾山その人についての概略をまずお話してみよう。

尾形乾山は京都西陣の呉服商（富豪の雁金屋）尾形宗鎌の子として寛文三年（一六六三年）丁度今から三百年前に生れ、江戸時代（元禄頃）の有名な大画家、光琳の弟であって名前を深省、号を乾山、紫翠、陶隠、尚古、習静堂、霊海等と言ったが、一般に知られている乾山の号は京都の乾（いぬいの方向）つまり西北に当る鳴滝村に住んでいた為である。（続く）

壬生高教諭　渡辺達也

※

※

白梅流水，図角切皿

道しるべ

ねずみ駆除が十二月から来年三月まで、県下一斉に行われます。ねずみは、セキリ、エキリ、腸チフスなどの伝染病を媒介したり、食中毒の原因にもなります。駆除する方法には、毒餌によって殺す方法、パチンコ、カゴ等の器具を使って殺す方法などいろいろあります。いずれにしても、必ず近所の方々と相談して地域ぐるみの一斉駆除を行いましょう。

冬休みはクリスマスや正月などで学生、少年がおもてで遊ぶ機会も多くそのため

。夜遊びをしたり

。悪い友遊に誘われて非行をする。

結果を非常に心配されるところです、それで、こんな時の注意としては

イ、お年玉やこづかいはなげやりな与え方をしないで、またその使い方にも注意してください。

ロ、「正月ぐらい」ということで酒やたばこを覚えさせることのないように注意してください。

ハ、お友達と一緒になんだからと時間を遅くまで遊ばせないでください。時に女の子の遊ぎは内容を知っている位にまで気をくばってください。

ニ、女の子の夜のひとり歩きは最も危険な時だということを考えてください。そして一人での夜間外出は絶対にやめてください。

壬生地区の大通りで、軒下においた自転車

。表ガラス戸を破られて金庫

。病院前の自転車からカバンと、ごく最近こんなドロボーの被害がありました。（年末、年始でなにかと気ぜわしい時のちょっとした油断でこんな被害にかからないようにしてください

。それには

イ、ドロボーを防ぐには

。戸締は完全に安全を確認する。

。カギは二重に

。銀行、農協、郵便局の帰りはねらわれる。

ロ、防犯診断始まる。

本紙が各家庭に配布される頃には各地で防犯診断が行われていることと思います。消防団と協力して実施するのですが、その時に戸締などで悪いところはご注意をしておりますので注意されたことは早速実行してください。